

令和8年度

特定非営利活動法人
岡谷市手をつなぐ育成会

事業計画(案)
抜粋

令和 8 年度特定非営利活動法人 岡谷市手をつなぐ育成会 事業計画

概要

平成 27 年度の混乱から 10 年が過ぎて、法人の 4 事業（就労継続支援 B 型事業、生活介護事業、共同生活援助事業、相談支援事業）は形を整えながら、ある程度は先を見通せる状況になっています。法人の目標でもある障がいがあっても、地域の中で暮らし、日中はいつでも所属する場があり、働きたい気持ちがあれば活躍することもできる。そのための機能を整えて来ています。それほど速いテンポとはいえませんが、ひとり一人が安心して過ごせるようになってきています。

では、今後も安泰なのかと言われると不安も少なくありません。現在の職員の平均年齢が高くなっていること。職員補充の難しさなど困難もつきまといまいます。

また、ご家族の形の変化、親の高齢化、親亡き後のこと、経済状況など、ご家庭個別の課題は徐々に現実的なものとなってきており、それぞれのご家庭の事情に合わせた対応が必要になってきています。今後の利用者さんの生活の場によっては今までと同じようにエコファおかやの利用を継続することが難しくなることも考えられます。それぞれのご家庭の中で今から話し合いをすすめてもらう事はもちろん、法人としては岡谷市ともに今まで以上に個別の対応を進めていくことになりそうです。

現在法人の持っている機能の中でできうる最大限の支援を続けていくつもりです。現在の規模、現在の能力の中ではまかないきれない事態も考えられます。様々な地域資源の利用も考慮しながら対応していきたいと考えています。

【 法人業務 】

〈 定例会議 〉

1、業務内容

定款に沿い法人必須の会議を定期的に行う

2、年間予定

総 会

5月中旬～下旬 令和7年度事業報告、決算などを振り返り検討

3月中 令和9年度事業計画、予算等を検討

理事会

5月初旬から中旬 令和7年度事業報告、決算の検討、総会運営等について

11月 令和8年度上半期の動向について等の検討

2月下旬 令和9年度事業計画、予算等を検討

事務局会議

随時

法人監査

4月下旬頃～5月中旬

3、対象

法人会員、理事、監事、事務局

4、その他

法人会員の拡大に努める

〈 新事業検討会 〉

1、活動内容

法人としてこれからのグループホーム事業の拡大や日中事業の内容の検討、あり方や事業展開や運営について検討する。

2、年間予定

未定

3、対象

理事・法人会員で希望される方

4、その他

会議の経過は逐次理事会、総会に報告される

〈 職員会（事業所職員） 〉

○ 方向性

- ・ B型事業所、生活介護事業所、共同生活援助事業所の連絡調整、動向確認のため事業所代表者が集まり情報交換する
- ・ 事業所の課題について検討するほか、方向性について確認する場とする
- ・ 職員は、障害福祉サービスを利用される方々が幸福感を持って生きていくための支援者として、その立ち位置で仕事を行っていきます。

○ 主任会議

- ・ 毎月第1木曜日16:30～ エコファおかやで行う

各事業所の動向、共有すべき課題等を検討

参加者 エコファおかや 事業所長、サービス管理責任者、B型事業所・生活介護事業所の主任もしくは代表者、エコファ相談支援事業所所長、主任もしくは代表者
ポムの家 所長、主任もしくは代表者

○ 職員会

- ・ 年1～2回程度

事業所の方向性について確認を行う

参加者 法人理事長、副理事長、全事業所職員（常勤・非常勤問わず）

○ ポムの家スタッフ会議

- ・ 毎月月末開催13:30～ポムの家
- ・ 利用されている方の状況の確認、支援についての確認、打ち合わせ

・参加者 所長、サービス管理責任者、世話人、宿直者

【多機能型事業所（指定障害福祉サービス事業所エコファおかや）事業】

〈 全体の方向性 〉

利用者の権利擁護、個別支援をより充実させ、利用者が安心して通い働いて収入を得る場、手応えを感じながら過ごせる日中活動の場として十分に機能するように、職員一同研鑽を積む。

また、職員はサービス等利用計画、サービス調整会議、就労アセスメントの実施、特別支援学校などの実習受け入れ等外部の関係機関との連携の機会がさらに増えていくことから、就業中の言葉遣いや振る舞いも含め社会人としての自覚を持ち、さらに総合的な支援力を高めていく。

障がい生きにくさと理解し、障がいのある本人が一人では十分できないところを補う事(支援)を行うための場であり、教育や指導を行う場ではないことをいつも確認していく。

生産活動・働くことへの支援 〈 就労継続支援 B 型事業 〉

○ 方向性

「利用者が支援を受けながら働き工賃を得る」福祉的な就労を提供するために、利用者が望む支援を具体的に提供する。また事故のないように安全確保に努める。

前年に引き続き受託製品加工・自主製品等のバランスをとりながらエコファおかやならではの特色のある生産活動を行っていく。施設外就労への転換も徐々に効果が出てきている。リサイクル作業も大きな柱の一つとして成長してきている。工賃は今後の暮らしを支える大きな糧となることから、目標工賃を具体的に設定し目標達成を目指す。令和6年度の目標工賃は平均工賃として一月当たり20000円とする。

今年度も、生産活動にはどのような「働き方」を提案できるか検討する。

更に、今後パソコンリサイクル基板事業も時代とともに変化することが予測できることから基板事業に依存しすぎない体制を検討し始める。

○ 委託加工

1、活動内容

- ・ 地元企業等の協力を得て、組立、選別、検査等の作業を受託し、不手際なく納期を守り、不良品を出さないよう作業を行う。

作業アセスメント・工程や役割の分割などを通し、個々に合わせたワークシェアリングも考慮に入れながら作業の内容を吟味し調整をする。

- ・ 利用者のニーズに合った、新規企業の開拓をおこなう。また今後も独自の生産活動や自主製品の開発に取り組んでいく。
- ・ 職員は積極的に作業の単価交渉を行うと共に、他の生産作業等の兼ね合いを考え作業量の適正化や工賃の向上に努める。利用者支援という面からも、支援職員は利用者が十分に行うことができない部分を補いながら、可能な限り利用者と共に作業に取り組む。利用者の力の及ばない部分については補完することは職員の仕事であることを常に確認していく。

○ 農作業

1、活動概要

- ・ エコファおかやの名前の由来ともなった核となる作業として専門性を持って作業に当たれるよう環境の整備やスキルの充実を図る。
- ・ 借用した農地において農作業を行う。
- ・ 機械化を徐々に進め、利用者の取組みやすい作業を提案する。
- ・ 利用者それぞれの作業能力に適した作業分割などを通し、協力や分担を心がけ作業を行っていく。
- ・ 作業者が生産過程を理解できるよう毎日取り組んでいく。
- ・ 種まきから育苗や植え付け、収穫や圃場の整備にのびのびした気持ちで取り組める。手ごたえが感じられるように支援されていく。
- ・ 目に見える成果として売上高を伸ばす。経費の無駄を省き工賃向上につなげる。
- ・ 長野県の農業就労チャレンジサポーター事業などを積極的に利用していく。
- ・ 働きやすい雰囲気作りと積極的な気持ちで畑に行き取り組める環境を作る

○ 清掃作業など（施設外就労）

1、活動内容

- ・ 施設から離れて一般の方たちの中で作業することを通じ、社会性の向上やほどよい緊張のある環境で就労の経験を重ねる。
- ・ 個別支援計画に確実に位置づけ、利用者それぞれの計画の目的にそった支援を行っていく。

- ・ 特定非営利活動法人長野県セルフセンター協議会より受託契約した公共施設の清掃業務を行う。(長野県諏訪合同庁舎・長野県工業技術総合センター・岡谷市役所庁舎など)
- ・ 長野県セルフセンター協議会より受託契約した岡谷市立保育園おむつ回収作業に取り組む。
- ・ (株) O.S.Bから委託契約により、駐車場内の草取りを行う。
- ・ 委託契約に基づき岡谷技術専門学校の駐車場等の草取りを行う。
- ・ 委託契約に基づき塩尻市サンサンワイナリーにおいて、ワイン用ブドウの畑の手入れや収穫などを行う
- ・ 林紙器製作所に出向き段ボール加工に取り組む。
- ・ 小井川区との委託契約に基づき、小井川区民会館、平成会館の掃除を行う。
- ・ 労働局より受託した除草作業を行なう。
- ・ エコファおかや建物の清掃作業、敷地内の草取りなどを作業として積極的に行っていく。
- ・ 上記の他にも依頼のあった個人や事業所と作業受託の契約に基づいて草取りなどおこなう。
- ・ 従事者養成のため、エコファおかや内にて可能なだけ事前練習等を行う。

○ 木工作業

1、活動内容

- ・ 間伐材などを利用し木製品を製作する

○ リサイクル作業・パソコン解体・解体資源物の販売

1、活動内容

- ・ 使わなくなったパソコンなど小型家電の基板などを有価物としてご寄附いただき分解する。
- ・ 材料毎に分別し、それぞれの素材を業者に販売する。
- ・ 甲信基板ネットワークで役割を分担しながら運営していく。
- ・ パソコン集荷などルートづくり、営業などB型職員を中心に行っていく。
- ・ 地域の企業、団体、個人等からアルミ缶・スチール缶・段ボール・新聞紙・牛乳パック等紙類を回収し、圧縮・整理作業後資源物業者に販売する

○ 販売活動

1、活動内容

- ・ 工賃向上のため販売活動を強化していく。
- ・ バザー等で生産活動の中で製作した自主製品を販売する
- ・ 在庫管理を行い生産・在庫の調整等を行う
- ・ 販売会の情報収集や販売活動先の新規開拓や製品の開発を行う
- ・ 商品の仕入れ販売、在庫管理等利用者が関わりながら行っていく。
- ・ 秋から冬の焼き芋などの販売に力を入れる。

○ モップ製作作業

1、活動内容

- ・ 就労継続支援 B 型事業の新規利用者の入り口の仕事として、利用者の適性など判断するためのアセスメントとしての役割もある。
- ・ 大小2種類のモップを製作し販売する。目的を持って作業に取り組み、単なる時間つぶしにならないように担当職員は計画していく。

○ 自主製品の開発、商品販売企画の実施・検討など

1、活動内容

- ・ 自主製品の開拓のため、製品の提案・検討、試作等を実施し、生産活動の拡大に努める。
- ・ 商品販売などに新しい作業の可能性について検討する
- ・ 随時、職員間で意見交換を行う
- ・ 許可や申請など、法的な部分での障壁について研究検討する。

○ 一般就労に向けた支援

1、方向性

- ・ B型事業の通所者で企業就労を希望する方に対し個別支援計画に基づき支援を行う

○ 豊かな人生を支えるための支援

- 1、 仕事のない週末の一日を充実した楽しい日としていくために、美術、工芸、音楽、舞踏な

どを体験する機会を提供し、いずれ本人が選択し取り組めるような情報を提供していく。

2. 週末に楽しみの時間が持てるような企画を提案する。実施する。

生活支援、自立した生活を支える支援 〈 生活介護事業 〉

方向性

支援を受けながらも、支援を含んだ環境のなか自立した暮らしを支えていくために、利用されている方にどのような支援があれば暮らしが送りやすいのかを常に考え提案していく。

個別の課題とニーズをあきらかにし、本人らしい暮らしの支援ができるよう職員間の情報共有を行う。

これから先の暮らしについて本人や家族と相談し必要な支援を提供していかれる。

行事では事前の計画をしっかりと行い、事故のないよう実施する。

○ 生活介護事業

1、活動内容

- ・ 個別支援計画に基づき過ごしやすいスケジュール・居心地がいい空間と時間を提供する
- ・ 通所者の活動範囲を広げる
- ・ 利用者が手ごたえの感じられる時間を提供することに努める。

2、年間予定

- ・ 基本的な生活支援・介護（排泄・食事介護・送迎・掃除・身支度の支援介助）などの提供。
- ・ 生産活動の提案 随時 アルミ缶圧縮、布巾縫い、等

入 浴 希望者に週2回支援を行う

月・木の午後実施

送 迎 希望者に対して送迎を実施する

散 歩 エコファ周辺や安全な公園内などの散歩に出かける

天候など見ながら随時実施

調理体験（楽しみの機会）

昼食づくり……年4回程度 ご飯を炊きレトルトの温めなどを行う

おやつづくり…年6回程度 ホットケーキや蒸しパンなど午後3時休憩にあわせて作る

メニューの決定から買い物、調理器具調達、実施、片付けまで利用者と共に行動

随時 希望する行事の情報提供や開催・参加の促しを行う

3、対象者

- ・ 生活介護事業利用者。

○ 行事企画

1、活動内容

- ・ 行事は、支援が必要な方が増えているため、事前に十分に準備・検討を行い実施する
- ・ 他団体が主催する行事や、土日に行う行事などは、利用者（及び家族）に情報を提供し選択できる環境を整える

2、年間予定

- ・ 6月1日(土) 諏訪地区障がい者スポーツ大会（茅野市運動公園）

参加者数に応じて配車や職員の配置を検討する

7月10日(水) 文化のつどい

4月中旬～3月上旬

週末の活動を含めいくつかの行事から参加したいものを選び、希望に沿って日程や移動手段等を検討する

行事の予定 7月中旬 食事会 8月下旬 カラオケ 9月上旬 地区レク

1月中旬 カラオケ 3月上旬 料理作り食事会 など

各レクの参加者に応じて職員の配置を検討

- ・ 9月未定(土曜日) ハンデサポートおかや主催 岡谷市福祉大運動会(小井川小学校)

- ・ 11月21日（土曜日） エコファ祭
目的…通所者一人ひとりができるだけ企画運営を手伝い、楽しみながら地域の方へのおもてなしをする
- ・ 12月7日（土曜日） ハンデサポートボウリング大会
参加者に応じて職員の配置を検討
- ・ エコファらばなど新設の行事など、体験を通じた情報提供につながるように配慮し多くの利用者の参加を促していく。

○ 当番活動支援

1、活動内容

- ・ 現行の当番活動が行えない方が増えてきていることから活動の内容を検討していく

○豊かな人生を支えるための支援

- 1、 仕事のない週末の一日を充実した楽しい日としていくために、美術、工芸、音楽、舞踏などを体験する機会を提供し、いずれ本人が選択し取り組めるような情報を提供していく。
- 2、 週末に楽しみの時間が持てるような企画を提案する。実施する。

〈 エコファおかやの業務管理 〉

○ サービス管理

1、業務内容

- ・ それぞれのニーズに合った個別支援計画を作成し、支援の方法を共有する
個別支援計画に基づきモニタリングを実施する
サービス等利用計画との調整を図るため、サービス調整会議等に参加する

○ 防火・防犯・緊急対応

1、業務内容

- ・ 災害時に慌てないよう事前から準備する
- ・ 緊急時にマニュアル通り対応できるよう再確認する
- ・ 避難訓練は天候等に配慮して実施する。

○ 苦情解決

1、業務内容

- ・ 第三者委員の報告相談する
- ・ 利用者利用者家族他からの苦情を受けつける
- ・ 苦情解決委員会を開催する

2、年間計画

- ・ 随 時 苦情の受付
- 随 時 職員向けの学習会
- 年 2 回 苦情解決委員会開催 第三者委員への報告会
- 1 1 月頃 苦情対応システム研修会（長野県社会福祉協議会主催）

3、対象者

- ・ 苦情は通所者、通所者家族などから受け付ける

4、苦情受付担当者 小平智子（B型事業）松田昌子（ポムの家）、下山幸江（生活介護）

※ 苦情受付は利用者が話しやすいことを重視するので、受付・受付簿記入は相談を受けた
どの職員も責任を持って受け付けていく。

○ 虐待防止委員会・身体拘束検討委員会

1、業務内容

苦情に上がる内容に虐待事案となるものがないか、職員の対応の仕方に虐待となる可能性はないかなど、エコファおかやでの状況を常に俎上に上げ虐待防止を進めていく。虐待防止等についてポムの家と一体的に対応していく。

身体拘束となるような対応がどんなものであるのかを職員で共有する機会を作る。また、どのような形で身体拘束になるような事案については必要な条件を検討共有しながら不用意な対応の無いように図っていく。

○ セクシャルハラスメント防止

1、業務内容

- ・ 職員間のセクハラ防止のための対策を講じる。
職員対通所者、職員対実習生・ボランティア、利用者対実習生・ボランティアなどのセクハラ対策についても検討

○ 健康管理

1、業務内容

- ・ 職員、通所者の健康を管理する。

外部機関事業所との協力、ネットワーク

1、業務内容

- ・ エコファおかや業務に関わる必要な会議への参加や見学者、実習生の受入を積極的に行う。
実習生の受け入れ時には記録を残す
特別支援学校実習生の受入はアセスメントの一環でもあるため、実習前後に打合せを行い
実習の評価を行う
生活介護事業所においての実習受入は生活スペースも狭く定員であるため検討する。

○ 研 修

1、業務内容

- ・ 事業所内外の研修に参加し、生活・就労支援についての知識を得ると共に日頃の業務に生

かす

○ 日中一時支援事業(タイムケア事業)

1、業務内容

- ・ 各市町村のタイムケア事業を活用し、一時的に介護の手がなくなる方のために時間単位で支援する。

○ 昼食斡旋

- ・ 給食を希望する方に対し、給食（弁当）を斡旋する
- ・ 当日朝遅くとも9時30分までに注文またはキャンセルを行うため、定期的に注文されている方のキャンセルや、急遽注文をする方はその時間までに連絡をいただく

○ 利用者送迎

1、業務内容

- ・ 希望者に対し送迎サービスを実施する

サービス利用のお手伝い【相談支援（エコファ相談支援事業所）事業】

〈 全体の方向性 〉

エコファおかや通所者、ポムの家入居者のみならず諏訪地域において計画作成が必要な方に対し計画作成などを行い、障害があっても豊かな暮らしがおくれるための支援をしていく。

〈 相談支援 〉

○相談支援

1、業務内容

- ・ 障がい当事者、家族、関係機関等への相談支援を行う

「基本相談」の他、計画相談等を行う「特定相談支援」、地域相談を行う「一般相談支援」、障

がい児利用計画を作成する「障害児相談」を実施する

緊急時の居場所、家族の息抜き【エコファおかや短期入所事業】

〈 全体の方向性 〉

運営方針

- (1) 利用者の立場に立ち、人権を尊重し、一人ひとりの生活の質を大切にサービス提供に努める。
- (2) 利用者家族の身体的・精神的負担を軽減するため短期入所の受け入れと共に家族との連携を密にし、幅広い相談支援に努める。

目的； 居宅において障がい者の介護を行う者の突発的な疾病やその他の理由により、緊急的に短期間の入所を必要とする障がい者に対し、短期間入所をして、夜間における入浴、食事等の支援、生活等に関する相談及び助言その他必要な日常生活上の支援を行います。

定員； 1名

利用期間； 利用期間はおおむね2泊3日までとする。日中活動先の利用を継続できるように支援するが、不可能な場合は協議の上指定障害福祉サービス事業所エコファおかやでの活動を支援する。

支援体制； 相談支援事業・多機能事業所としてのエコファおかや（生活 介護・就労支援）が一体的に協力体制をもちながら、利用者の特性に応じ安心して過ごせる場所と時間を提供できるように配慮する。緊急時には可能な限り支援体制を作り対応する。

特にエコファおかや関係利用者以外の緊急時は、事前の体験や情報の提供も不十分と考えられることから、当該市町村の担当者や当該利用者を担当する相談支援専門員の協力を得ることを前提として体制を整える。

一人暮らしの支援【共同生活援助（ポムの家）事業】

〈 全体の方向性 〉

定員いっぱいの利用が継続されている。家庭との距離感も、利用者それぞれに定着してきている。利用者が個々に安心した暮らしが継続していけるように個別支援の必要な部分、集団での暮らしで制約を受ける部分のメリハリを意識しつつ支援をしていく。また地域との連携を常に意識し、地域活動にも積極的に参加できるようにする。

〈 生活支援 〉

方向性

- ・ 入居されている利用者の自立生活を支えるため、個人個人のアセスメントを十分に行い、支援の体制を組み立てていく。

生活リズム

- ・ 起床・就寝・食事・入浴等時間の使い方については個々の希望に沿い支援者が利用者と相談の下に個別支援計画により調整するものとする。

ただし通所通勤が必要な平日や介助が必要な生活支援（入浴等）は、時間調整の提案や依頼を行う。

食事作りや共用部の掃除、買い物、外出計画などについてはどのように行うか話し合っ
て決める。

自宅等の外泊は入居者の所在確認（災害等への対応の観点）のため緊急時を除き、事前に職員に報告してもらう。

疾病等で平日日中静養する場合には対応できるよう法人事業所間で協力し職員配置を行
う。

○ 行事等

1、方向性

- ・ 行事は入居者と内容を検討し実施する
- ・ 地域の行事・活動は積極的に参加する方向で検討する

2、年間予定

実施するかどうかは入居者と話し合い決定する※ 行事は利用者の参加希望を何より尊重し、

参加しないことも選ぶことができる。

誕生日会…4・7・8・9・10月頃

誕生日者が希望するメニューを取り入れた食事の提供等

忘年会（クリスマス会）または新年会…12月～1月頃

外食または希望メニュー等を取り入れた夕食

その他季節行事

地域連携推進会議(第1回)

〈 業務管理 〉

○ サービス管理

1、業務内容

- ・ 個別支援計画を作成し、支援の方法を共有する。

相談支援事業所等が作成するサービス等利用計画との調整を図るため、サービス調整会議等に参加する

2、年間予定

- ・ 毎日 個別記録記入

月1回程度 スタッフ会議

- ・ 随時 個別支援計画、再アセスメント、モニタリング、個別支援面接 等

3、対象者

- ・ 記録の作成 全入居者対象

個別支援計画 全入居者対象

○ 防火・防犯・緊急対応

1、業務内容

- ・ 災害時に慌てないよう事前から準備する。

- ・ 緊急時にマニュアル通り対応できるよう再確認する

2、年間計画

- ・ 防火・防犯

法定点検 9月、3月

防火自主点検 毎日（チェック表の活用）

消防用設備自主点検 6月、12月

避難訓練 2回程度

緊急時マニュアルの再確認 随時

3、対象者

- ・ 訓練は入居者、職員全員で行う

避難の様子を観察し、避難動向とそれに向けた支援を行う

近所への通告等地域への配慮も行う

- ・ 点検は職員が行う

4、その他

- ・ 諏訪広域消防署（岡谷消防署）、岡谷警察署等の協力を得る

○ 苦情解決

1、業務内容

- ・ 入居者からの苦情を受けつける

2、年間計画

- ・ 随時 苦情の受付

随時 職員向けの学習会

年2回 苦情解決委員会開催 第三者委員への報告会

- ・ 11月頃 苦情対応システム研修会（長野県社会福祉協議会主催）

3、対象者

- ・ 苦情は入居者、入居者家族から受け付ける

○ 虐待防止委員会・身体拘束検討委員会

1、業務内容

苦情に上がる内容に虐待事案となるものがないか、職員の対応の仕方に虐待となる可能性はないかなど、ポムの家での状況を常に俎上に虐待防止を進めていく。虐待防止等エコファおかやと一体的に対応をしていく。

身体拘束となるような対応がどんなものであるのかを職員で共有する機会を作る。また、どのような形であれ身体拘束になるような事案については必要な条件を検討共有しながら不用意な対応の無いように図っていく。

2、年間計画

年度の始めに、虐待及び身体拘束についての学習会を行う。

苦情受け付け事案について、委員会としての意見をまとめる。

年度末には職域に報告を行っていく。

○ セクシャルハラスメント防止

1、業務内容

- ・ 職員間のセクハラ防止のための対策を講じる

2、年間計画

- ・ 随時 セクハラ相談受付

年数回 職員学習会

○ 健康管理

1、業務内容

- ・ 職員、入居者の健康を管理する。

- ・ 健康管理は法人内他事業所の看護職員に委託する

○ 外部調整、ネットワーク

1、業務内容

- ・ ポムの家業務に関わる必要な会議への参加等を行う

〈 研 修 〉

1、業務内容

- ・ 以下研修計画に基づき事業所内外の研修に参加し、生活支援についての知識を得ると共に日頃の業務にいかす。

職員のキャリア形成のため対応する職種に応じた研修への参加の機会を提供する。

職種ごとに様々なカテゴリーを網羅しそれぞれの階層に必要な知識やスキルを身に着け、さらに知識やスキルを向上していくことを目的とする。